

未来への種まき

秋晴れの陽気が心地よい頃となり、また、木々が紅葉する時季にさしかかりました。保護者、地域の皆様方におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校教育活動にご理解とご支援を賜っておりますこと、心より御礼申し上げます。

先月、修学旅行で6年生17名を引率しました。奈良・京都の一泊二日の旅でした。異常なほどの暑さと、外国人観光客の多さに驚きました。なるほど、これが報道等でよく引用されている「インバウンド」というものかと感嘆しました。この旅行で感心したことや感動したことは多くありますが、その中の1つを挙げてみます。それは、奈良公園での「外国語チャレンジ」のことです。子どもたちには、あらかじめ担任から「外国人観光客に英語で話しかけて、サインをもらう」というミッションが課せられていました。私自身は、英語を話せるわけもなく、こちらから外国の方に話しかけるなど到底できないタイプなのですが、子どもたちは違いました。最初は少し尻込みをしているようでしたが、一度うまくいくと、次々に話しかけてサインをもらっている姿がありました。5人以上がノルマでしたが、みるみるうちに、10人、15人…とサインの数を増やしていきました。アジア系の方々は、見た目では外国の方なのか分かりにくいですが、会話に耳を傾け、日本語ではないことを確かめると、その方々にも英語で話しかけサインをもらっている様子には心から感激しました。「子どもたちの才能や可能性は無限」だなと…。

子どもたちが社会で活躍する頃は、今よりも社会全体のグローバル化、デジタル化・オンライン化がかなり進んでいることでしょう。「予測困難な時代」とも言われますが、われわれ大人の予想を超えて、そんな社会を立派に生き抜く力を身につけている最中なんだな、「未来への種まき」がしっかりできているな、と思えた2日間でした。

本年度も後半に入っていきますが、保護者、地域の皆様には、これからもいろんな場面でご協力いただくことがたくさんあると思います。信頼され応援される学校にするために、教職員みんなで努力してまいります。子どもたちの健やかな成長のために、皆様のご理解とご支援をよろしくお願いします。

令和6年10月2日

千種学園

栄栗市立千種小学校長 上山 昌秀